

飛への根本を築け

d、議長選舉（司會者一任）

議長 久留米第七軍團 山口 光 藏

書記任命 二名

4、議長挨拶

今や吾國は内外の危機に當面す、本大會は國威を外に示すと共に爲政者に一撃を與ふる意義ある大會である。

5、宣言並に決議文發表（書記朗讀）

別紙の通 可決

6、緊急動議

一、軍部大臣へ建白書提出

軍部要求の豫算に對し本大會の決議を以つて支援する爲  
陸海軍大臣宛建白書提出のこと 可決

二、宇垣朝鮮總督に對し辭職勧告

巷間傳ふるところに依れば政權獲得の障礙を行つてゐる然るに國防、國體破壞の罪人である、速かに其の辭職を要求するものである。 可決

三、經人佐野屋留雄君助命上奏文提出

統帥權干犯國防破壞の罪人横口雄幸を刺したことは五・一五事件と同じく祖國を救ふ・・・中止・・・中止されたので其の賛成があるならば・・・中止し檢束。

7、祝辭祝電

a、祝電 陸國軍中國本部 外五通

b、祝辭

陸國軍本部書記長 宮 田

昭和維新斷行の叫ばれて既に三年、血盟國五・一五事

櫻